

6:13 神は、アブラハムに約束する際、ご自分より大いなるものにかけて誓うことができなかったの、ご自分にかけて誓い、
6:14 「確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたを大いに増やす」と言われました。
6:15 このようにして、アブラハムは忍耐の末に約束のものを得たのです。
6:16 確かに、人間は自分より大いなるものにかけて誓います。そして、誓いはすべての論争を終わらせる保証となります。
6:17 そこで神は、約束の相続者たちに、ご自分の計画が変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されました。
6:18 それは、前に置かれている希望を捕らえようとして逃れて来た私たちが、約束と誓いという変わらない二つのものによって、力強い励ましを受けるためです。その二つについて、神が偽ることはあり得ません。
6:19 私たちが持っているこの希望は、安全で確かな、たましいの錨のようなものであり、また幕の内側にまで入って行くものです。
6:20 イエスは、私たちのために先駆けとしてそこに入り、メルキゼデクの例に倣って、とこしえに大祭司となられたのです。

神様はご自身の権威によって、将来を約束してください。その権威は決して損なわれることはありません。その約束こそが私たちの錨です。すなわち嵐や大波にも流されない守りの力なのです。

イエス様を信じる者は、そのような神の約束の力を信じているということですから、その信仰が錨のような安心と将来をもたらすのです。

誰でも何か不安要素をかかえているでしょう。腐心して状況を変えようとするのは悪くないでしょ

うが、解決に至らないことは多いものです。先ず何よりも、先の先まで見通して最善の導きをくださる神様の権威のもとに行きましょう。そして見えない神の御手のゆえに安心しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

